

TOTO

台所用シングルレバー混合栓 (ハンドシャワータイプ)

TKG36型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

 注意	
 禁止	<p>湯水を逆に配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p> 
	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して水漏れのため家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p> 

 注意	
 分解禁止	<p>この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p> 
 必ず実行	<p>凍結が予想される場所でご使用になる場合は、配管部などに保温材を巻いてください。 また、寒冷地用の場合は、「10 寒冷地用の水抜き方法」を参照のうえ、凍結予防を確実に実施してください。</p>  <p>部品が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
 禁止	<p>寒冷地用</p> <p>水抜コックは水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>水抜コックをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 

2

仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa (流動圧)
	最高水圧	0.75MPa (静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅台所用

3

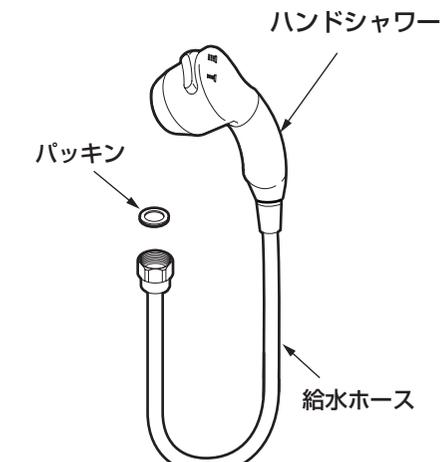
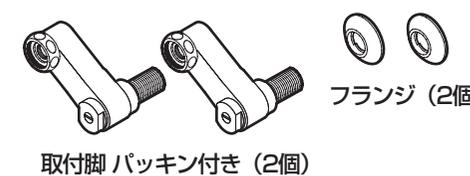
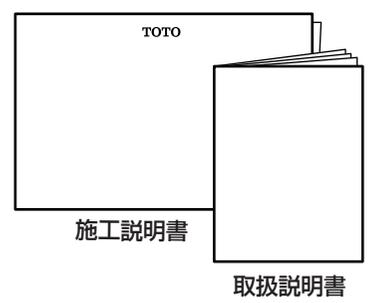
取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の水圧をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている場合がありますが、商品には問題ありません。

4

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

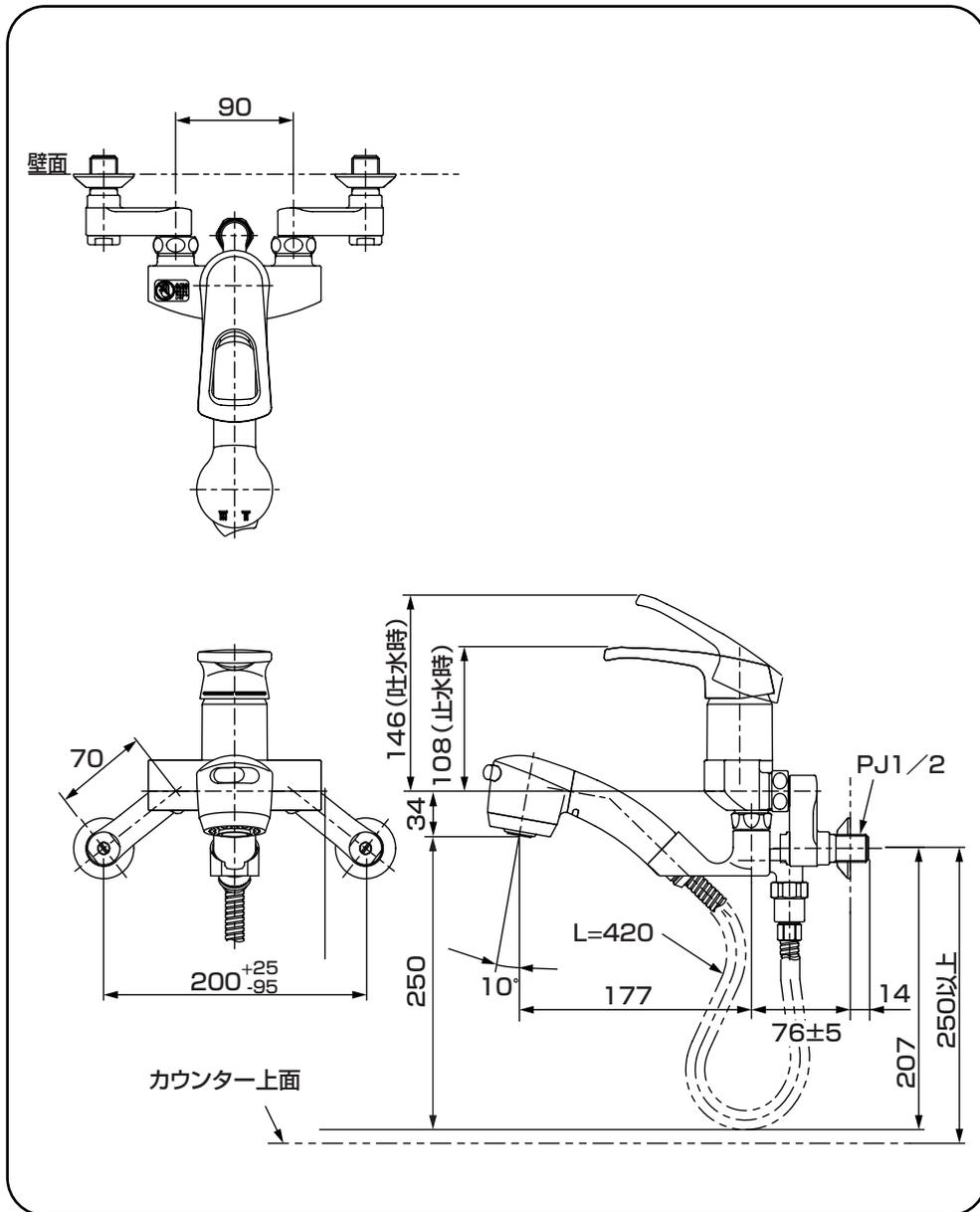
水栓本体部	シャワー部
 <p>レバーハンドル</p> <p>ハンドシャワーハンガー</p>	 <p>ハンドシャワー</p> <p>パッキン</p> <p>給水ホース</p>
取付脚部	その他
<p>一般地用</p>  <p>取付脚 パッキン付き (2個)</p> <p>フランジ (2個)</p>	 <p>TOTO</p> <p>施工説明書</p> <p>取扱説明書</p>
<p>寒冷地用</p>  <p>取付脚 パッキン付き (2個)</p> <p>フランジ (2個)</p>	

※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

5

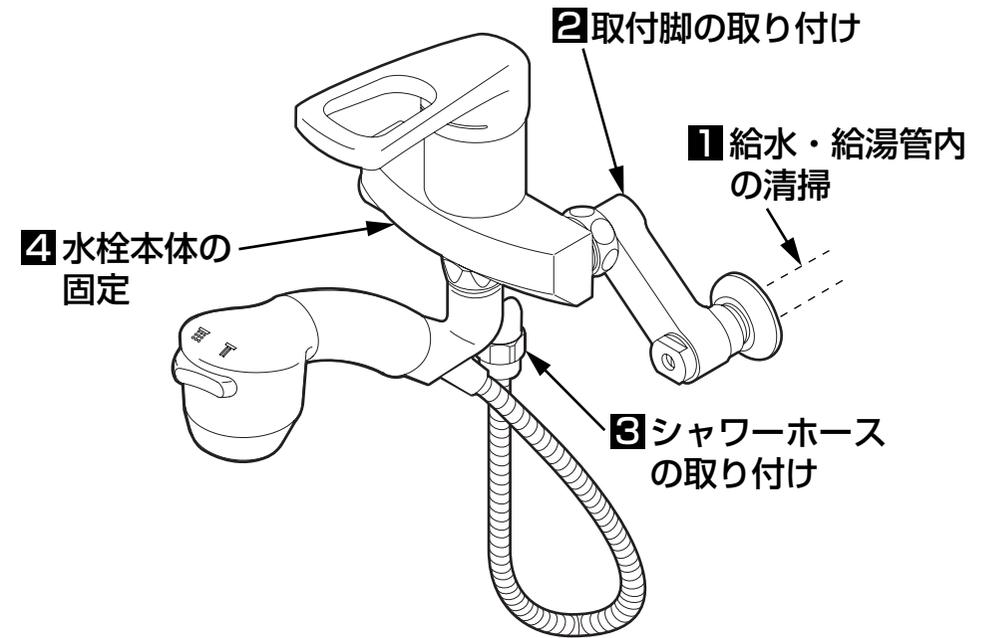
完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



6-1

施工手順



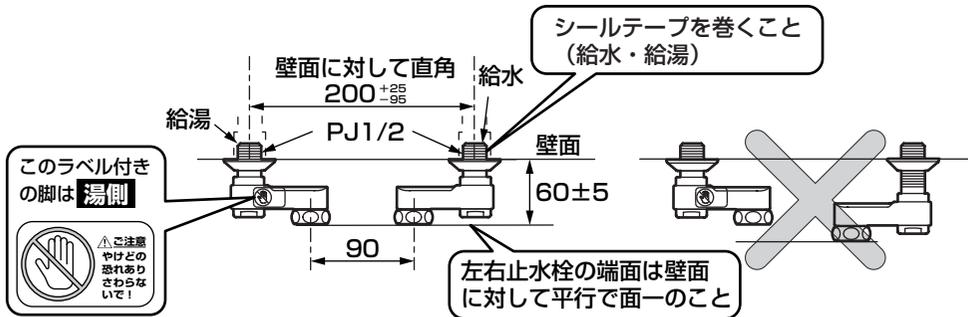
1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

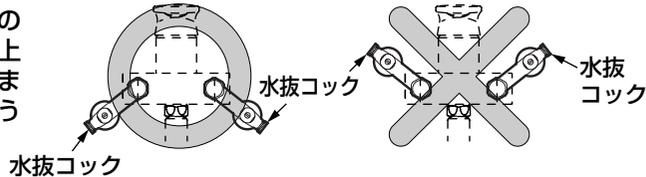
重要

2 取付脚の取り付け

取付脚を取り付ける。(給水・給湯側)



※寒冷地用の場合は取付脚の水抜きコックが本体よりも上になると、水抜きができませんので必ず下になるように取り付けてください。

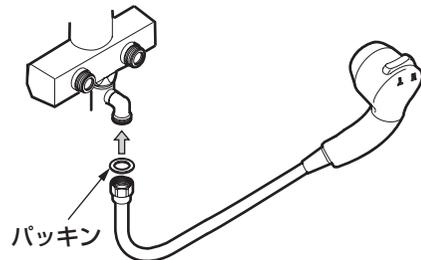


3 シャワーホースの取り付け

シャワーホースを図のように取り付ける。

注意

パッキンが入っていることを確認してください。

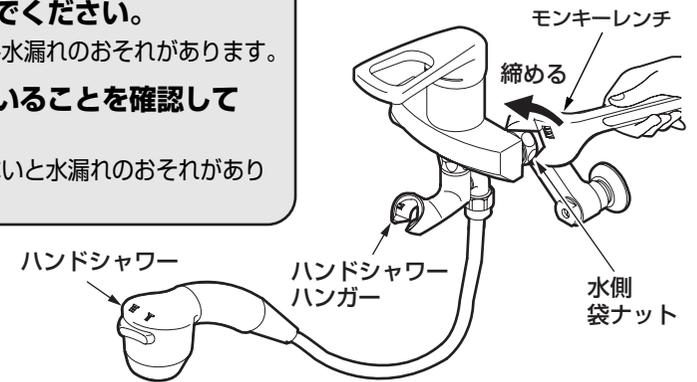


4 水栓本体の固定

- ①水栓本体を取付脚に取り付ける。
- ②水平になるように調整しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。

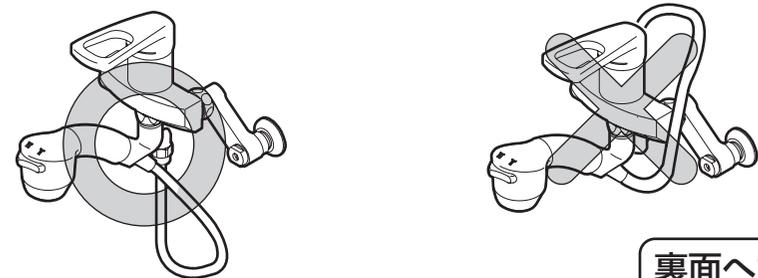
注意

- ゆるみがないようにしっかり締めてください。
袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- 取付脚は回さないでください。
配管との接続がゆるみ水漏れのおそれがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。
パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。



- ③シャワーホースが取付脚の下から出るようにハンドシャワーをハンドシャワーハンガーへはめ込む。

※寒冷地用の場合は取付脚の上から取り出すと水抜きができなくなります。



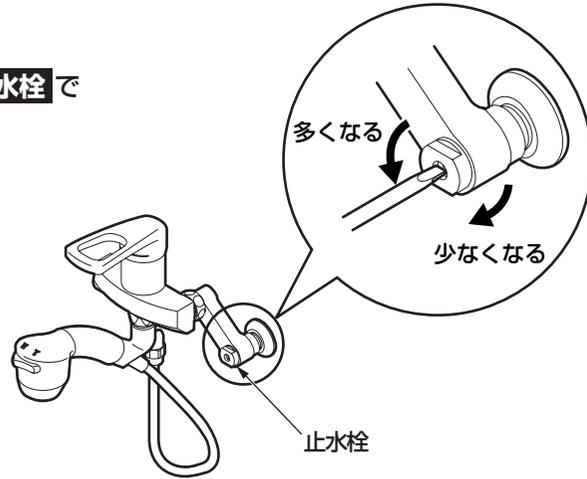
7

施工後の調節

流量の調節

止水栓による流量調節

水勢が強すぎる場合は**止水栓**で水勢を調節してください。



8

使用上の注意

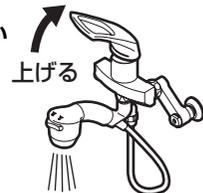
ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません**。
お客様に十分ご説明ください。

現象	説明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重く感じる。	急に水を止めると、「ドン」といった不快な音が発生することがあります。この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたらいっているため、故障ではありません。
使いはじめに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

取り付けが完了した後、次の項目を確認してください。

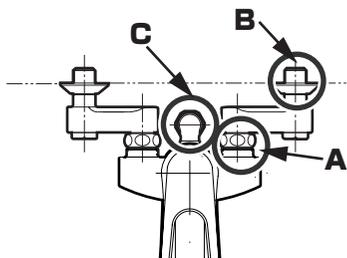
水出し確認

配管部の元栓を開け、吐水口から水が出るか確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

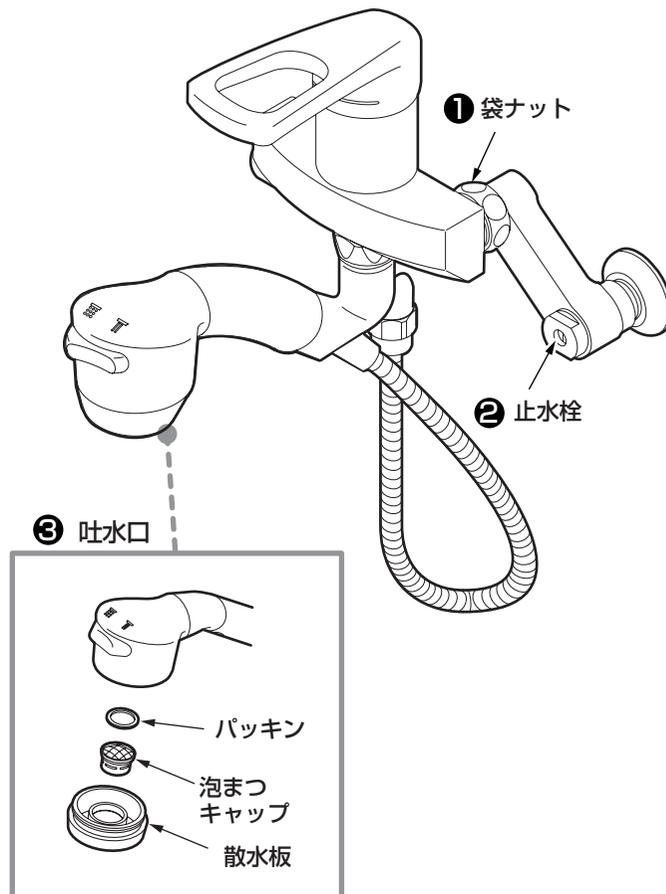


A・Cから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。

Bから水漏れがある場合

配管に腐食・ひび割れなどが無いことを確認のうえ、再度取り付け直してください。



ガタツキの確認

水栓本体のガタツキがないか確認してください。

① 袋ナットのゆるみはないですか？

↳ 6-2 - ④ 「水栓本体の固定」参照

流量及び吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度がうまく調節できない場合は、次の項目を確認してください。

② 止水栓は開いていますか？

↳ 止水栓で流量を調節する。

7 - 流量の調節 参照

③ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

↳ 吐水口の掃除をする。



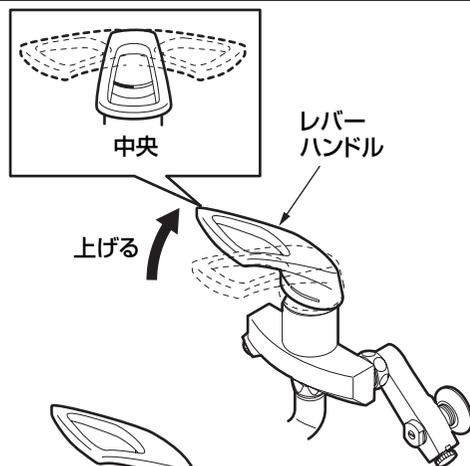
10

寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

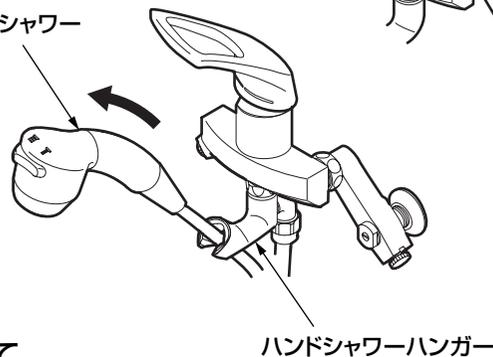
1. 配管部の元栓を閉め、水抜栓（配管部）を開ける。

2. レバーハンドルを中央位置で上げる。



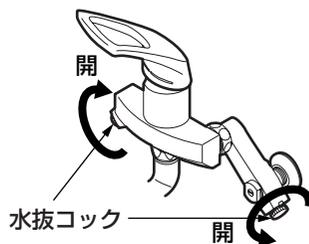
3. ハンドシャワーを外す。

ハンドシャワーをハンドシャワーハンガーから外してシンクの底に置いてください。



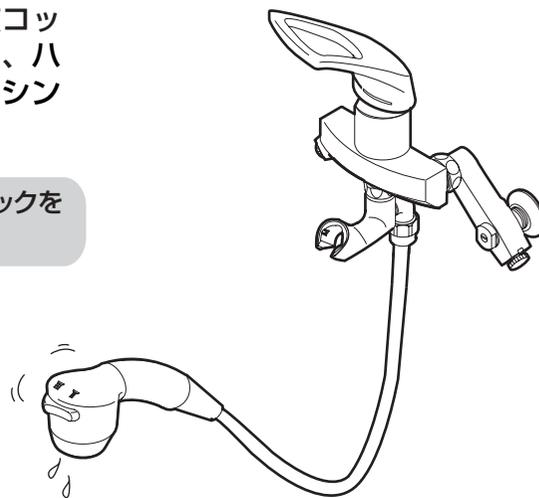
4. 全ての水抜コックを開けて水栓本体の水を抜く。

※水抜コックは2カ所あります。



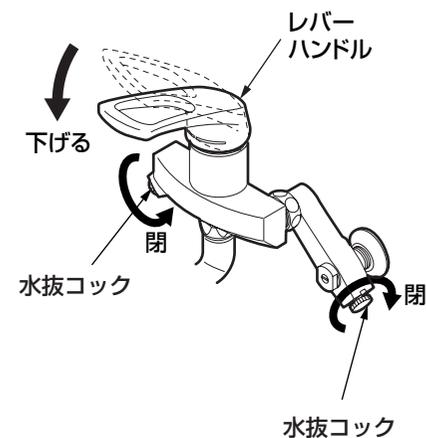
5. ホース内の水を抜き、水抜コックから水が出なくなったら、ハンドシャワーを振ってからシンクの底に置く。

※水抜き完了後は必ず水抜コックを確実に閉めてください。



6. 水抜き完了後は、必ずレバーハンドルを下げる。
(水が出ない状態)

重要



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。